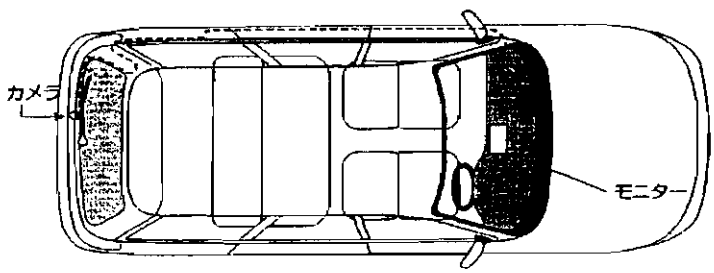
リヤビューC-MOS カメラセット　取付説明書

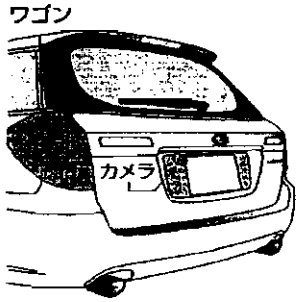
配線概要図



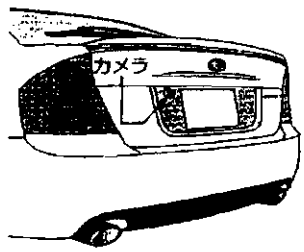
注意1：作業の事故防止のため、作業前には必ず
バッテリーのマイナス端子を外してください。

完成図

ワゴン



セダン



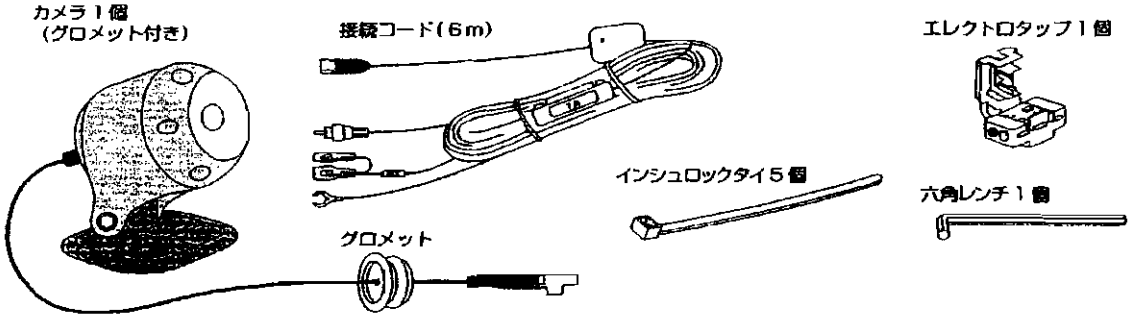
注意2：車体の一部に穴を開けるので、開ける前にモニターと
カメラを接続して動作確認をしてください。
（動作確認のさいは、仮配線しエレクトロタップは
使用しないでください）

部品番号

SAA3220102　レガシー
（ワゴン・アウトバック・セダン）

お願い　取付説明書は取付店にて保管しておいてください。
取扱説明書のみを必ずお客様にお渡しください。

構成部品



- 取付説明書
- 取扱説明書
- セダン用穴開け位置決めシート

使用工具

電気ドリル（ドリル径2.5mm/16mm〔ホール ソー〕）、リムーバー、ビニールテープ等、ドライバー（プラス、マイナス）、センターポンチ、針金、糸ノコギリ、カッターナイフ、丸ヤスリ、平ヤスリ、直径9mm以下で長さ50cm以上の棒、防錆材、保護布等

⚠ 安全上のご注意

お取り付け、ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告事項

- 本取付・取扱説明書に準拠した接続をしてください。
火災や事故の原因となります。
- コード類は、取り付け方法の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておいてください。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となります。
- 本製品の改造、分解はしないでください。
火災やけが、故障の原因となります。
- 本製品は、DC12V⊖アース車専用です。DC24V車には取り付けないでください。
火災などの原因となります。
- 本製品、または車両のヒューズが切れたときは、必ず規定容量の新しいヒューズに交換してください。
規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。
- 本製品は、車載用ですので他の用途には使用しないでください。
火災や感電等の原因となります。

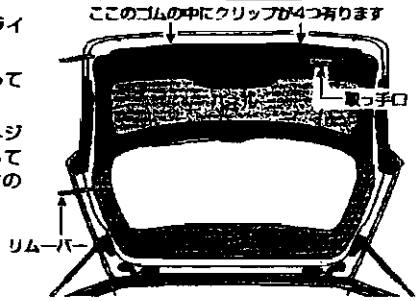
⚠ 注意事項

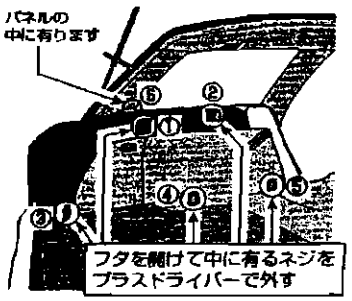
- コード類の配線は高熱部を避けてください。
ケーブル被覆の被覆が溶けて、事故や火災の原因となります。
- 車体やネジ等、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまないでください。
断線やショートにより事故や感電、火災の原因となります。
- 両面テープが付いている部分は、指でさわったり、貼り直したりすると、粘着力が弱まるので、取扱いには十分注意してください。
両面テープの粘着力が低下し、はずれると注意散漫になり、事故やけがの原因となります。
- 車体に穴を開けて取り付けるので、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと接触することがないよう注意してください。
車両本体の事故や感電、火災の原因となります。

ワゴンタイプ

1. リヤゲート内側パネルと荷物室パネルの外し方

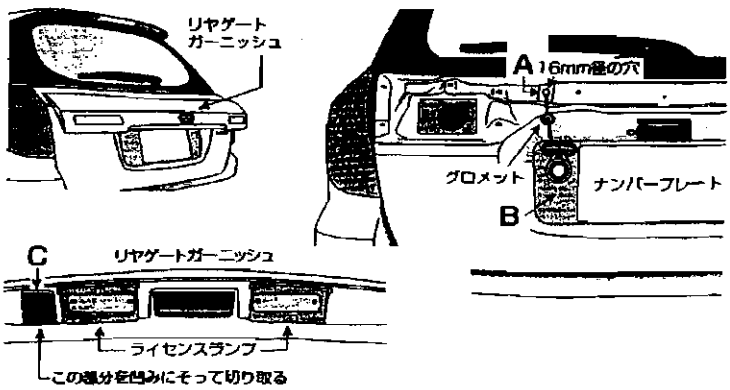
1. 取っ手口に有るフタの中にネジが2個有りますので、プラスドライバーを使用して外してください。
2. リヤゲートの内側に張り付けてあるパネルを、リムーバーを使ってはがします。
3. 荷物室助手席側窓ガラス下のパネルは、①から⑤はフタの中にネジが有りますので、フタを開けてプラスドライバーを使用して外してください。また、⑤の所にもサイドパネルの中にネジが有りますので、サイドパネルを外してください。





2. リヤゲートガーニッシュの外し方及びカメラ取付場所

1. リヤゲートの外側に付いているリヤゲートガーニッシュを取り外します。
2. リヤゲートガーニッシュは13個のナットで取り付けられていますので、ナットを外し各コネクターを切り離して、リヤゲートガーニッシュを取り外します。
3. 取り外しをしたリヤゲートガーニッシュのC部分を凹みにそって、糸ノコギリ及びカッターナイフ等で切り取ります。後処理として平ヤスリや丸ヤスリでバリを取りのぞきます。
4. リヤゲート外側A部の中央をセンターポンチで印を付けます。その印部の場所を16mm径の電気ドリルで穴を開け（外側の鉄板の内側にもう1枚鉄板がありますので2枚とも穴を開ける）、そこにカメラコードとグロメットを差し込みます。グロメットを差し込む時にはマイナスドライバー等を使用して差し込んでください。
5. カメラは8部分の平らな場所でなるべく上の方に付けてください。また、左右に関しては上記の3番目で切り取られた部分の左右、中心にくるように付けてください。

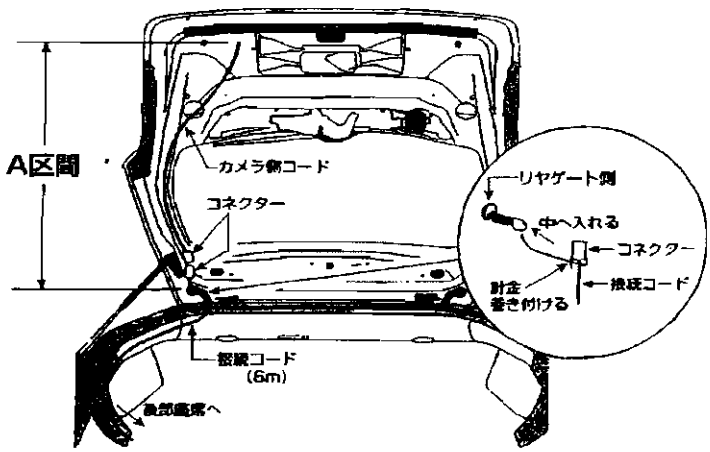


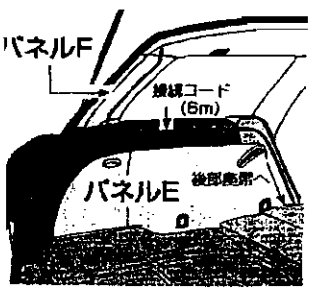
注意1：車体に開けた穴のバリは取り除き、防錆加工をしてください。

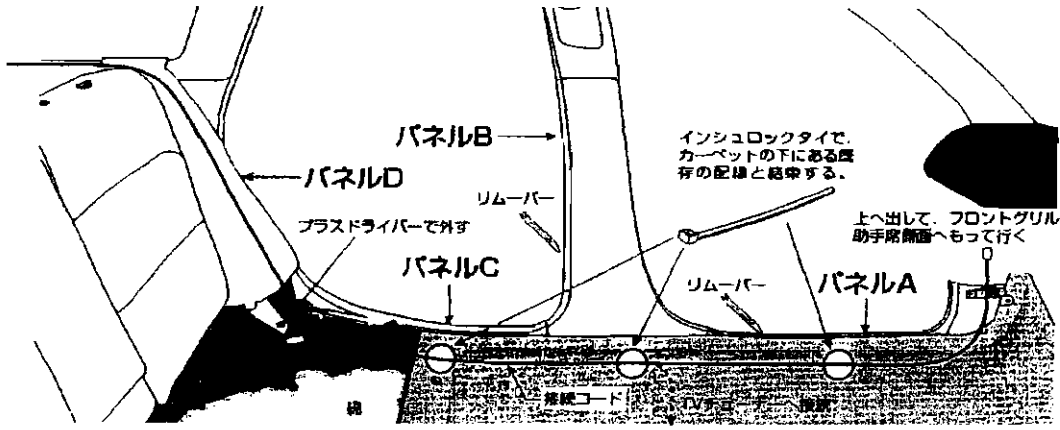
注意2：グロメットと車体、カメラコードのすき間はシリコン接着剤等で防水してください。

3. リヤゲート及び室内の配線

1. A区間においては、必ずカメラ側コードと接続コードはリヤゲートの内部に収めてください。
2. カメラ側コネクターと接続コネクターを接続し、次ぎに接続コードを室内側に送り込みます。
3. 後部座席の座面を外します。（座面の手前から持ち上げて押し込むとフックが外れ座面部分が取れます）
4. 車内助手席側のパネルAからパネルFまでリムーバーで外します。
5. リヤゲート側から接続コードをパネルFからDの形状にそって、接続コードをはわします。
6. パネルC下のカーペット下に接続コードを置きます。
7. 同じようにパネルAとパネルB下のカーペット下に接続コードを置きます。カーペット下には既存の配線コードが有りますので、インシュロックタイを使って接続コードがたるまない様に結束してください。結束したあとは、接続コードをパネルAの上から出しておいてください。
8. モニターとの接続後、パネルAからFまでの各パネルをもとの状態にもどしてください。



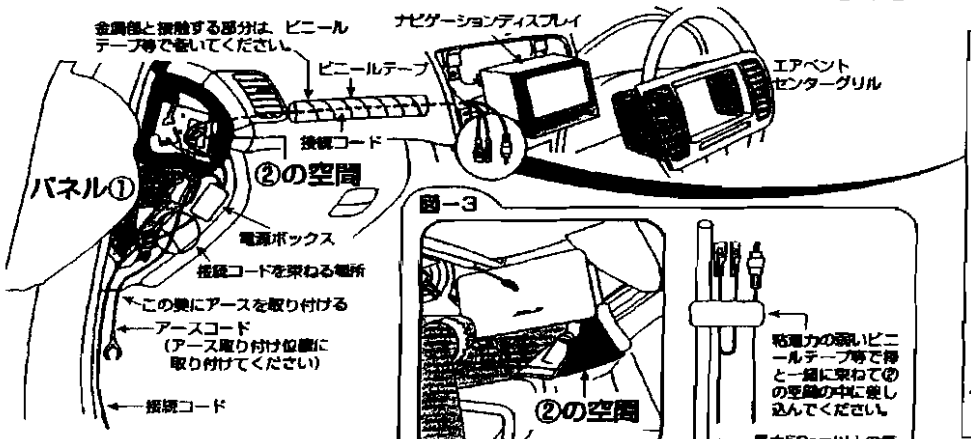




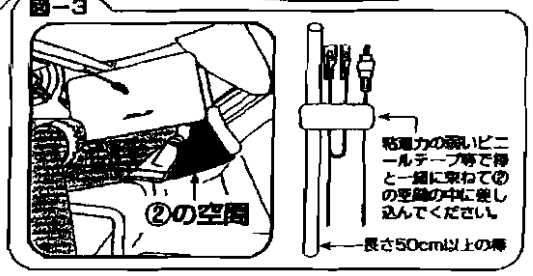
ワゴン/セダン共通

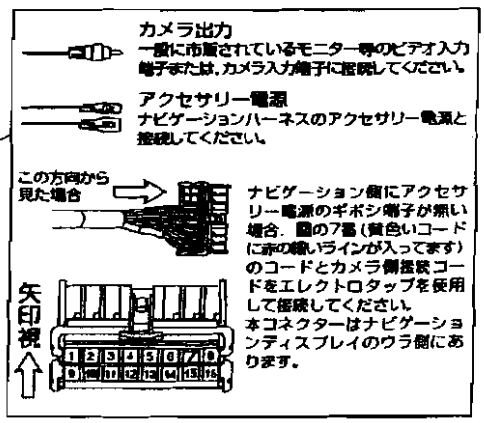
フロントパネルの配線例(カメラ入力端子がモニター部に有る場合)

1. エアベントセンターグリルとナビゲーションディスプレイを取り外します。
2. フロントパネル側面のパネル①を外して、パネルAの上部から出ている接続コードの接続部分を長さ50cm以上の棒と一緒に束ねて、図−3の②の空間の中に差し込んでください。(空間の中には、エアバック等他の部品が有りますので破損に注意し作業してください)
3. 上記の1で取り外した所から接続コードを出してください。
4. 接続コードとモニターを接続後、電源ボックスを図の位置に張り付けてください。
5. 接続コードのたるみを調節して、あまったコードは電源ボックス下に束ねてください。各パネルとモニターをもとの状態にもどしてください。



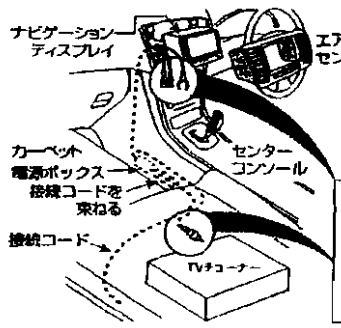
図−3





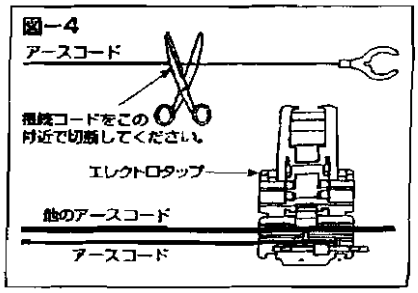
TVチューナーを使用した配線例(カメラ入力端子が運転席の下側または、助手席の下側に有る場合)

1. TVチューナーを助手席の下に置きます。
2. 接続コードのカメラ出力をTVチューナーと接続してください。
3. エアベントセンターグリルとナビゲーションディスプレイを外し、開いた空間から長さ50cm以上の棒を差し込みセンターコンソール左側面下に出します。
4. 差し出した棒の先端にアクセサリー電源とアースコードをビニールテープ等で結束して上に引っ張り出します。
5. 電源ボックスをカーペットとセンターコンソール左側面下とのすき間に差し込みます。接続コードのたるみを調節しあまったコードは電源ボックス右側に束ねて入れてください。
6. カメラ側アースコードとナビゲーションハーネスのアースをエレクトロタップで接続してください。(図−4を参照)また、カメラ側アクセサリー電源とナビゲーションハーネスのアクセサリー電源をギボシで接続してください。
7. モニターとエアベントセンターグリルをもとの状態にもどしてください。
8. カメラとモニターの動作確認をしてください。

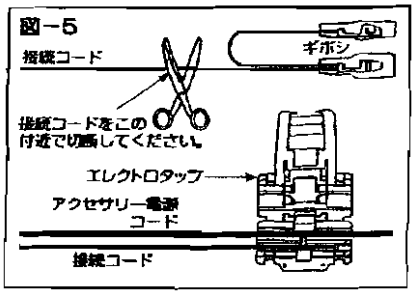


アクセサリー電源 ……イグニッションキーON/OFFできるカーラジオ、シガレットライター用電源に接続してください。
アース ……他のアースコードに接続してください。
カメラ出力 ……TVチューナーのビデオ入力端子または、カメラ入力端子に、接続してください。

図−4



図−5



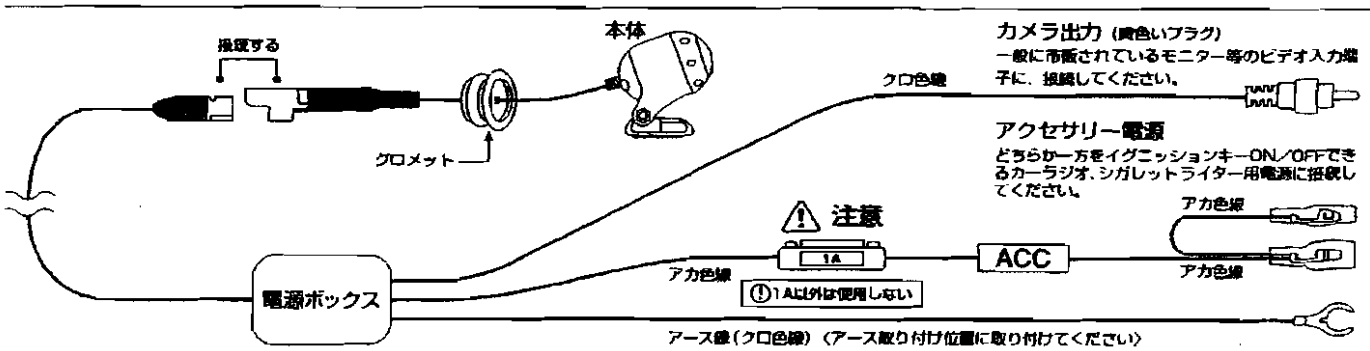
注意1:カメラ入力端子が運転席下側に有る場合は、接続コードを運転席側から配線してください。

注意2:モニターのウラ側にあるバックカメラ端子に接続してください。モニターのウラ側にバックカメラ端子がない場合は、TVチューナーに接続してください。また、モニターにTVチューナーが付属されていない場合は、別売りのTVチューナーが必要となる場合があります。(詳細はナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。)

注意3:ナビゲーションシステムの機種によっては、バックカメラ端子は映像入力端子と表示されている場合もあります。また、ナビゲーションシステムによっては、カメラ入力設定が必要となる場合があります。(詳細はナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。)

注意4:アクセサリー電源がナビハーネスのギボシ端子から取れない場合は、付属のエレクトロタップを使い図−5の様に結線します。

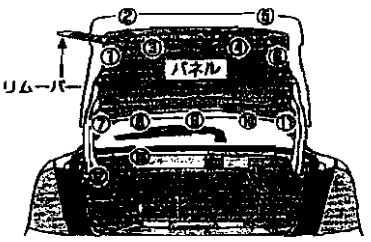
配線図



セダンタイプ

1. リヤゲート内側パネルとトランクルームパネルの外し方

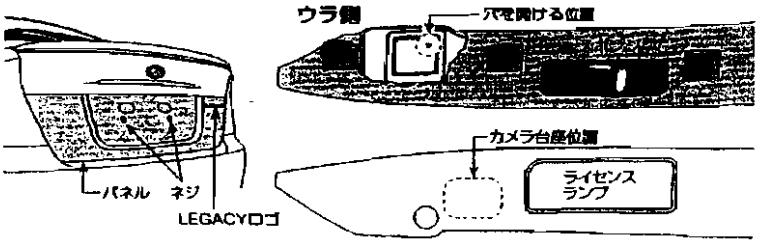
1. リヤゲートの内側に、①から⑪のボタン(②と⑤は衝撃用ゴム材)で張り付けているパネルをリムーバーを使用してはがします。
2. トランクルーム内の助手席側パネルには、⑨と⑪のボタンをリムーバーを使用してはがします。



2. 穴開け位置及びカメラ取付位置

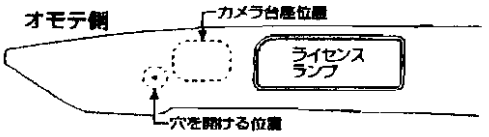
ナンバー取付前

1. リヤゲートにLEGACYロゴが付いているパネルは、2箇所のネジで取り付けられていますのでプラスドライバーで取り外します。
2. ライセンスランプが付いている黒い板と各コネクターを切り離して取り外し、ウラ側に付いている防水スポンジをめくり図で示した所を2.5mm径の電気ドリルでガイド穴を開け、その後16mmのホール ソーで穴を大きくします。
3. オモテ側の示した所にカメラの台座を付けてください。



ナンバー取付後

1. 別途付属のドリル穴開け位置決めシートを参照してください。



注意1：車体に開けた穴のバリは取り除いてください。

注意2：グロメットと車体、カメラコードのすき間はシリコン接着剤等で防水してください。

3. リヤゲート及び室内の配線

1. カメラ側コネクターと接続コネクターを接続します。
2. 接続コードをリヤゲートの内側にビニールテープ等でコード止め、また、アーム部分はインシュロックタイでたるみをなくすように結束し、後部座席の背もたれの下にあるすき間から室内側に送り込みます。
3. 後部座席の座面を外します。(座面の手前から持ち上げて押し込むとフックが外れ座面部分が取れます)
4. 車内助手席側のパネルAからパネルCまでリムーバーで外します。
5. トランクルーム側から出された接続コードはパネルA~C下のカーペット下に接続コードを置きます。
6. カーペット下には既存の配線コードがありますので、インシュロックタイを使って接続コードがたるまない様に結束してください。結束したあとは、接続コードをパネルAの上から出しておいてください。
7. モニターとの接続後、パネルAからCまでの各パネルをもとの状態にもどしてください。